

## 南区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
買い物困難者支援事業		南区役所企画総務課			
事業目的	事業内容	活動指標	H28	H29	H30
地域住民が身近な地域で買い物できる環境を支援する。	移動販売は、買い物困難対策の有効な対策の1つであり、移動販売車の定着を目的に、移動販売車の周知や地域の賑わいづくりなどを考えるワークショップを行った。また、コロナウイルスの感染拡大防止のため中止としたが、地域への移動販売車の周知や地域と移動販売業者がマッチングするためのイベントの実施を準備した。	移動販売車の南区での新規拠点数			
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
○ 本事業は、区民評議会の答申を受け、南区の課題の一つに対応するものである。高齢者等が身近な地域で買物できる環境を整えるために実施するもので、区として実施すべきものである。	◎ ワークショップでは、地域住民と移動販売事業者、行政、大学生が一堂に集まり、様々な立場から意見を出し合い、一緒に考えることができた。また、中止となったもののイベントの開催にむけて、地域、事業者、大学との連携をはかった。	○ イベント開催にあたっては、移動販売車とともにキッチンカーや地域の方による催し、ステージ等を予定しており、地域へのチラシ配布や広報紙に掲載したことで、多くの方に知っていただくことができた。	△	イベント開催には至らなかったが、イベントの広報をする中で、移動販売車のメリットや移動販売の定着に向けたPR、また新たに近隣地域と移動販売車事業者とのマッチングを図ることができた	
⑤自立発展性	総合評価				
○ イベント開催に向けたチラシの配布や地元自治会からの協力などにより、今後も移動販売事業者の地域への積極的なアプローチが期待できる。	○ 買い物困難者の課題について、地域住民と移動販売事業者、行政、大学生など様々な立場の方と一緒に考えることができ、連絡体制が取れたことは一つの効果であると考えられる。また、イベント開催の準備を進める中で、チラシ等の広報をとおして移動販売が買い物困難の課題解決の一つとして有効であることを地域住民にも周知することができたことは大きい。今後も地域住民が身近な地域で買い物できる環境を支援する必要がある。				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">                     拡充 継続 見直し 廃止                 </div>	南区にとっての大きな課題の一つである買い物困難者支援を今後も行なっていく必要がある。その一つの方法として、移動販売は有効な方法と考えられることから移動販売の拠点数が増えていくよう働きかけていく。				